

第23回 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議
議事要旨

開催日時：令和元年8月1日（木）15：00～

開催場所：宇都宮国道事務所 2F 会議室

出席者：早稲田大学 理工学術院 創造理工学部

社会環境工学科 教授	森本 章倫（委員長）
（公社）栃木県観光物産協会 会長	新井 俊一（代理出席）
栃木県地区交通安全協会女性部連合会 会長	五十嵐 清江
（一社）栃木県トラック協会 会長	吉高神 健司（代理出席）
（一社）栃木県安全運転管理者協議会 会長	相良 芳隆（欠席）
栃木県教育委員会 委員	陣内 雄次（欠席）
（一社）栃木県バス協会 会長	手塚 基文（代理出席）
NPO 法人 eーとちぎ 代表理事	藤平 昌寿
（一社）栃木県商工会議所連合会 会長	増淵 正二（欠席）
（株）下野新聞社 宇都宮総局長	山崎 一洋（欠席）
栃木県警察本部 交通企画課長	吉田 英生（代理出席）
交通規制課長	塚野 重徳
東日本高速道路（株）関東支社宇都宮管理事務所 事務所長	松村 英嗣（代理出席）
栃木県 県土整備部 交通政策課長	谷 英夫
道路整備課長	仲谷 俊昭
道路保全課長	佐藤 大三
都市計画課長	分田 久貴（代理出席）
都市整備課長	林 真
関東運輸局 栃木運輸支局 支局長	中里 直之
国土交通省宇都宮国道事務所 事務所長	小幡 宏

議事

渋滞対策

- 1) これまでの会議の開催経緯
- 2) 今回会議の論点
- 3) 渋滞箇所の検討方法
- 4) 渋滞対策の進捗状況
- 5) 主要渋滞箇所の見直し
- 6) 優先検討箇所の検討・ピンポイント渋滞対策の検討
- 7) 道路利用者会議等からの渋滞対策要望箇所の検討

8) 今後の渋滞対策実施方針

事故対策

- 1) 未就学児が日常的に集団で移動する経路等の交通安全の確保について（情報提供）

議事要旨

(1) 渋滞対策

事務局 主要渋滞箇所からの解除に係る流れを変更したい。従来は渋滞対策完了箇所のみをモニタリングおよび解除の対象としていたが、今後は未完了箇所も対象としていきたい。また前回より、主道路のみモニタリング指標をクリアしている箇所について、従道路の特性によっては解除していく流れとしていたが、この特性の判断基準を変更したい。

事務局 主道路・従道路ともにモニタリング指標をクリアしている 17 箇所については「今年度解除候補箇所」とし、今後現地確認等により渋滞の有無を確認した上で、次回会議にて主要渋滞箇所からの解除を審議予定。主道路のみモニタリング指標をクリアしている 27 箇所については「今年度解除検討箇所」とし、今後現地確認等により従道路が「20km/h 未満となることを許容する箇所」に該当する箇所を抽出し、次回会議にて主要渋滞箇所からの解除を審議予定。

委員 H25 選定時の判断基準は速度だけではないので、速度以外も含め総合的に判断すべきではないか？地元の方々が納得できるようすすめることが必要。

事務局 現地確認および、速度状況が改善した理由などの分析・整理を行い、丁寧な説明ができるようにし、解除を判断してもらいたい。

委員長 現地踏査を行う場合、行った日がたまたま渋滞していなかったということもある。その道路を長年見てきている道路管理者・交通管理者への確認などにより、定量的・定性的な判断をするフローとしてもらいたい。

事務局 検討する。

委員 選定当時よりも交通状況が悪化している箇所があれば、主要渋滞箇所に追加することも検討する必要があるのか？

事務局 指摘の通り、追加していくことも必要と考えている。

委員 「20km/h 未満となることを許容する箇所」として、大規模発集施設周辺を挙げているが、こうした箇所の速度低下を許容し、主要渋滞箇所から解除することは適当なのか。

委員長 幹線道路の円滑性確保を優先するため、原因者である施設の利用者による渋滞は許容せざるを得ないという考え方である。こうした箇所は主要渋滞箇所から外し、より問題ある箇所があれば主要渋滞箇所に加えるというように、PDCA を回していくべきではないか？

委員長 現在は全国統一の基準として、速度状況をもとに解除候補箇所などをリストアップしている段階だが、解除にあたっては渋滞損失時間・渋滞長なども考慮することが必要である。考え方を整理していきたい。

(2) 事故対策

事務局 未就学児が日常的に集団で移動する経路等の安全確保について、6月18日の関係閣僚会議を受け、緊急安全点検を行うこととなった。対象施設側で危険な箇所をリストアップして頂き、これを道路管理者・交通管理者等で共有しながら、対応を検討していきたい。

委員 関連する話題として、神奈川県において、バス停留所に近接する横断歩道で児童が事故に巻き込まれ亡くなる事故があり、関係機関が対策を進めている。栃木でも類似の箇所については対策をするべきではないか？

委員長 ETC2.0などを活用し効率的に危険箇所の洗い出しを進められればと考えている。

(3) その他

事務局 栃木県より情報提供である。日光地域における渋滞対策について、国・県・市・民間事業者合同で取り組んでいる。パークアンドライドの推進や混雑箇所の一方通行化などにより、効果が出てきているところである。